

# 決算終了後に翌年度へ移行するまでの手順

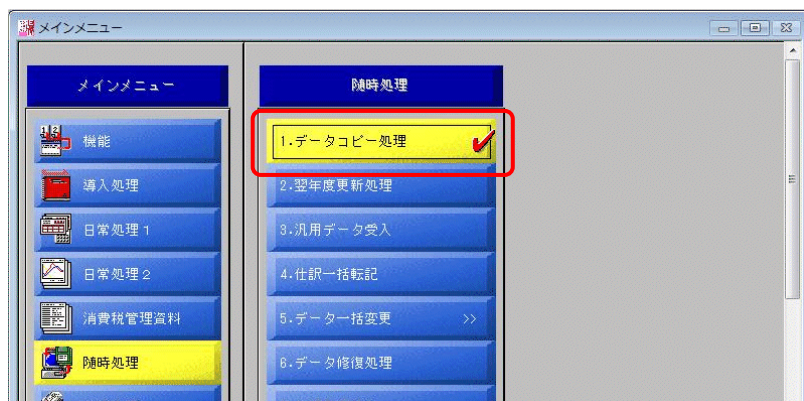
## < 勘定奉行21シリーズ全般 >

決算後の処理は、以下の通りです。

- ① 決算終了後に、データコピー処理でバックアップデータを作成します。

[随時処理]－[データコピー処理]

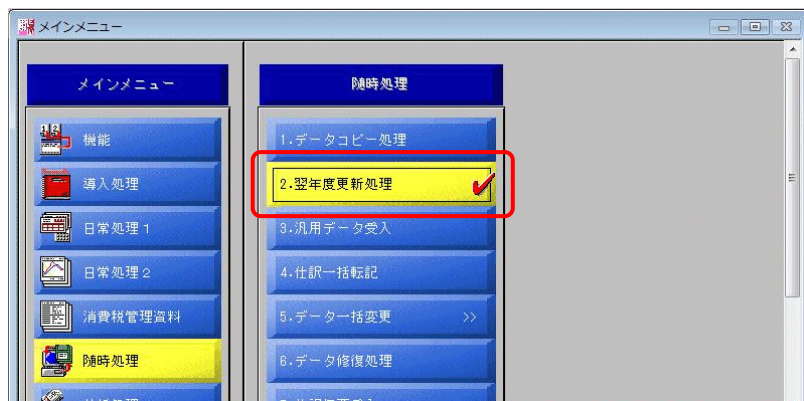
(詳しくは、オペレーションマニュアル－随時処理－データコピー処理を、ご参照ください。)



- ② 今年度のデータを入力するため、新しい会社データを作成します。

[随時処理]－[翌年度更新処理]

(詳しくは、オペレーションマニュアル－随時処理－翌年度更新処理を、ご参照ください。)



こんな時は・・・

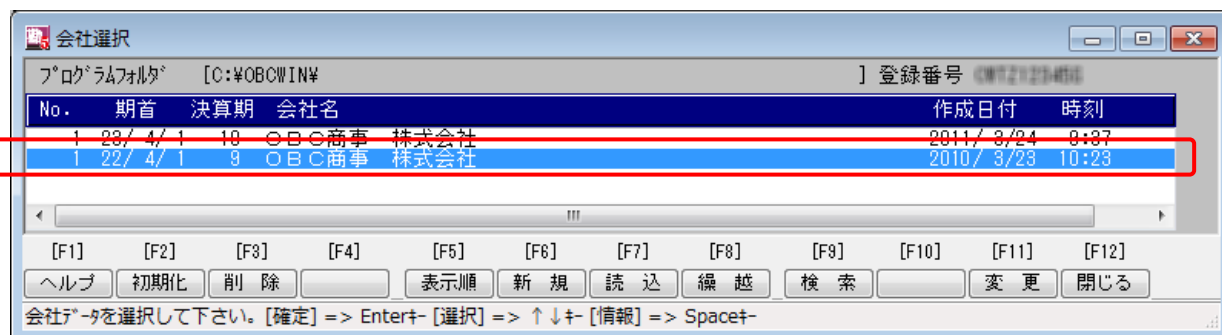
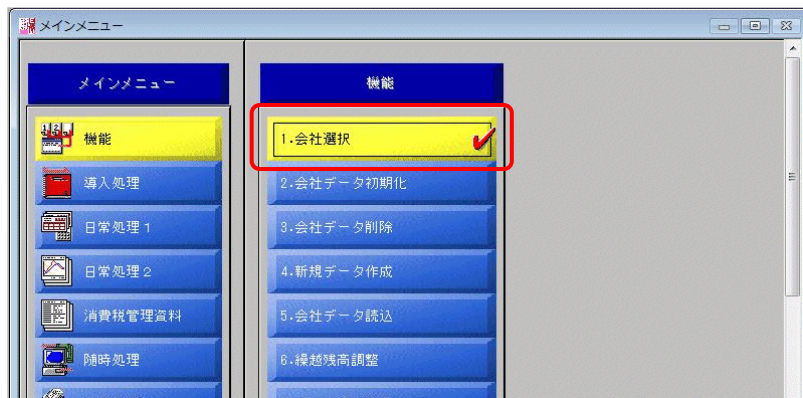
- ・ 前年度データを修正（伝票の追加・修正等）したい。
- ・ 決算手続きが終了する前に、翌年度の伝票を入力したい。

2 ページ

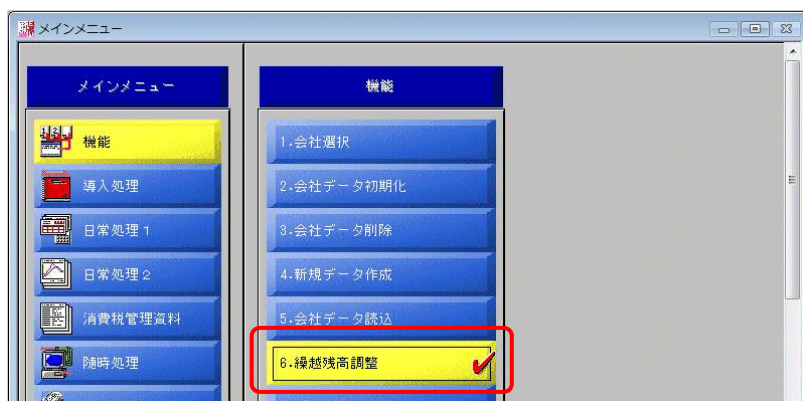
3 ページ

## 前年度データを修正（伝票の追加・修正等）したい。

- ① 処理する年度を変更するために、[機能]－[会社選択]メニューで、前年度データを選択します。



- ② 伝票の追加・修正等、必要な処理を行います。
- ③ 伝票の追加・修正等によって、残高が変更されます。変更後の残高を、翌年度の会社データに反映させるために、[機能]－[繰越残高調整]メニューを実行します。



最初に繰越元（前年度データ）の会社を選択し、続いて、繰越先（今年度データ）の会社を選択します。  
なお、この処理は、何度行っても問題ありません。

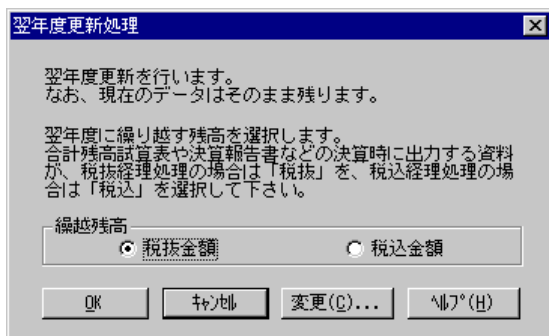
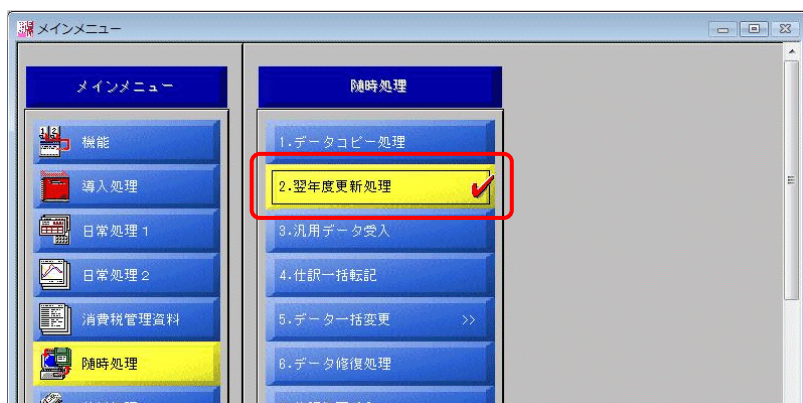
- ④ 処理する年度を戻すために、[機能]－[会社選択]メニューを選択し、今年度データを選択します。

# 決算手続きが終了する前に、翌年度の伝票を入力したい。

翌年度の会社データを作成するには、[随時処理]－[翌年度更新処理]メニューで処理します。

## 注意

- ◆ 翌年度更新処理前の元データはそのまま残り、削除されません。
- ◆ 翌年度更新処理を実行する前に、[随時処理]－[データコピー処理]メニューで、バックアップデータを作成してください。



「繰越残高」は、試算表や決算報告書を出力する際に、税抜で出力している場合は「税抜金額」を、税込で出力している場合は「税込金額」を選択します。

## 参考

今年度データと翌年度データを切り替えるには、[機能]－[会社選択]メニューで選択を行います。

